



レベル I

令和7年度 教育委員会



研修企画者より（OJTにつなげてほしいこと等）

今回の研修では、フィジカライグザミネーションの基本について再度確認の演習をしました。自分の目や耳、手などにより患者の状態を知ることができることを再認識する機会となったと思います。同時に解剖生理の知識から手法まで、自らの課題も明らかになったと思います。OJTでは、患者から得られた情報をアセスメントにつなげる意図的な関わりが必要となるため、計画的な支援をお願いします。



フィジカルアセスメント研修



令和7年7月24日（木）

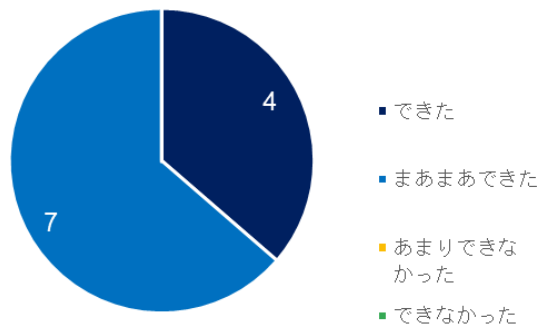


研修担当者：

濱・服部・安田・本多

研修後アンケート

1. 事前準備して積極的に取り組むことができましたか

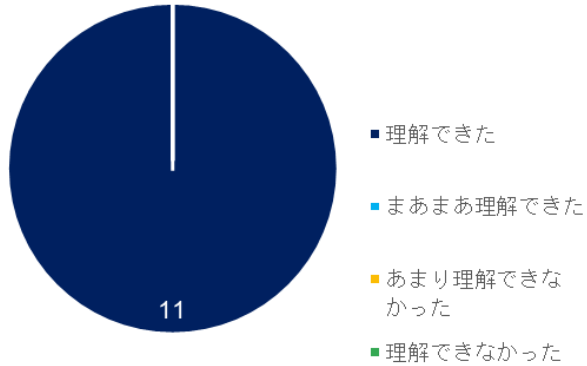


- これで合っているのかな、と普段不安になっていたことが解消された
- 手技や根拠が不安なところがあったので事前に学習することで理解につなげることができた
- グループでの分からないところを聞け学べた
- 聞かれたことに答えられなかったから
- 事前課題をしておくことで、演習した中でも、繋がりやすかった。
- 興味のある内容だったから
- 学習はしてきたけれど順番であったり質問に対して答えられなかった。
- eラーニングを通して事前学習を行ってから研修を受けることで、一つ一つどんなものかを考えていくことができたらいいか理解しながら取り組むことができました。
- 一番基本で大切な技術だから
- あらかじめ動画をみたり、学生の頃に使用したレジメを復習した上で取り組むことができたから
- 事前に学習したけれど、勉強不足のところもあり積極的にいけなかったから。



研修後アンケート

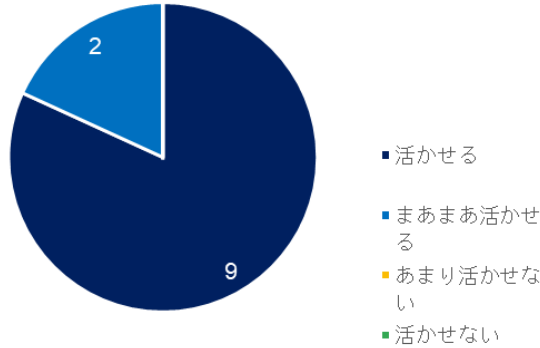
3.研修の内容は理解できましたか



- 各ブースで分かれてひとりずつ疑問を解消することができた
- 説明がとてもわかりやすかった
- 正常と異常な判別を考えることができた
- 実際に音を聞いたり、見たりできたのでよかった
- 実際に自分でも見たり聞いたりして、理解しやすかった。
- 質問するとどんなにくだらない質問や、まとまっていない質問でも答えてくれたから。
- 分からない部分や他の人の分からなかった部分などもしっかり知ることができた。
- わからないことも一つずつ質問したり相談したりして理解を深めることができたと思います。
- それぞれの分野に分かれることでひとつひとつの手順技術を身につけることができた
- 実際にできてなかった部分を知れたのと、再復習できた部分があったから
- 自分が行う検温で患者の変化が少しでも気づくためのものなので少しずつチカラを磨いて情報を収集していこうと改めて感じたから。

研修生の意見等

5.現場で活かそうですか



- ・意識レベルの確認は、頻繁に行わないため方法など実践して学ぶことができた
- ・毎日必要な技術ばかりだったため
- ・実際に疾患の呼吸音を聞くことができたりして、少し感覚がつかめれた
- ・実践して、患者さんに合わせてアセスメントする必要がある
- ・実際に患者のバイタル測定の時や、報告などするときに、活かしていきたいと思った。
- ・使っていきたい
- ・フィジカルイグザミネーションは患者さんの状態を知るうえで基本的な部分でもあるため。
- ・今日学んだことをもう一度振り返って理解をさらに深められるようにしていこうと思います。
- ・コミュニケーションが取れない患者が多い中で顔の表情や触診、打診などその人を知るためには活用すべき技術だから
- ・説明がわかりやすく、内容を理解することができたから
- ・日常生活を過ごされている患者の変化を見つけるために必要だと思ったから

7. その他（感想・要望） なにかあればお書きください

- ・実演があるとわかりやすくて、勉強になりました。
- ・実際に現場でできてない部分があったので、理解につなげることができたので良かったです